

ほうじょう福祉だより

編集・発行 北条地区社会福祉協議会
TEL 992-5080

北条地区社会福祉協議会機関紙

第36号

北条の動き

人口 7,733人
(65才以上 2,541人)
高齢者人口比率 32.8%
世帯数 3,804戸
(令和5年6月1日現在)



松山市役所 北条支所長
池内 陽一

北条支所長挨拶

皆さんこんにちは。北条支所長の池内です。令和四年四月にこちらにまいりましてから一年余りが経ちました。地域の皆さまには日頃から北条支所の業務にご理解とご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、令和二年一月に国内初の新型コロナウイルスの感染者が確認されてから、三年余りが経過しました。

この間、感染拡大を防ぐため、法に基づく感染対策が取られ、市民の皆さんには一定の行動制限が求められていましたが、今年の三月に、マスクの着用が個人の判断に委ねられ、五月には感染症法上でインフルエンザと同じ五類へと取扱いが変更されました。

このことにより、行動制限が求められなくなり、地域活動もコロナ前の状況と取り戻しつつあると感じています。

ここ北条でも、今年は、風早の春を代表する祭である「北条鹿島まつり」が四年ぶりに完全に近い形で実

施され、島では子供だんじりが、海上では櫓練りが披露され、さらに、鹿島沖の夫婦岩では、千八百余りの願い文が綱い込まれた大注連縄の張替が行われ、海上の安全や五穀豊穡が祈願されました。

身近な所でも様々な活動が本格的に再開され、先日北条公民館運動会や北条小学校運動会を拝見いたしました。住民の皆さんや小学生の皆さんの活躍が、北条地区に元気を取り戻してくれているように感じました。

こうした地域の活動を続けていくためにも、新型コロナウイルスの感染が再拡大しないように、三密の回避や咳エチケット、手指の消毒など、感染対策に日常化を私たち一人一人が、意識をしていくことが大事になると考えています。

最後に、合併から十八年が経過し、北条支所の役割も変化していますが、引き続き皆さんが気軽に立ち寄れる身近な行政窓口であり続けたいと考えています。そしてここ北条が住み続けたい、また、住んでみたいと思っただけの街となりますように、職員一丸で取り組んでまいります。皆さまには、引き続きご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。あいさつとさせていただきます。

令和5年4月1日から

新制度

ふれあい・いきいきサロン 緩和型サロンが始まります！！

松山市では介護予防を目的とする活動に取り組む住民主体のグループ

「ふれあい・いきいきサロン」の活動を支援しています。

令和5年4月から「ふれあい・いきいきサロン」の登録条件を緩和した「緩和型サロン」が新しく支援の対象に加わりました。

●支援対象・内容●

松山市内に
住所がある
65歳以上の方
5人以上

※上記を満たせば65歳未満の方の参加も可。
※親族のみの登録は不可。

月1回以上
1回30分以上
の活動

活動時間のうち
15分以上は
体操や
脳トレーニング

※どちらかまたは両方

月額2000円
の支援！！

※使用用途に制限があります。

活動場所は
公民館・集会所
公園・貸しスペース
自宅など

上記以外の時間は、レクリエーション、スポーツ、歌、手芸、茶話会など自由に活動できます。
(ただし、感染症などの状況により変更となる場合があります。)

●上記のほか、効果測定への参加や活動報告などの条件があります。

●10人以上、月2回以上、1回60分以上などの条件を満たす場合は、通常のふれあい・いきいきサロン（支援金：1回4,000円～）の支援制度を選ぶこともできます。

これまでより登録しやすくなったこの機会にサロンを始めてみませんか？

サロンの立ち上げは松山市社会福祉協議会のサロンコーディネーターがお手伝いします！

松山市社会福祉協議会 地域支援課 ☎941-3828 までお気軽にお問合せください！

詳細・申請書は「松山市社会福祉協議会ホームページ」または二次元コードを読み取ってください。



ホームページはこちらから➡



松山市社会福祉協議会 地域支援課 ☎941-3828 FAX941-4408
北条支所 ☎993-1400 FAX993-1419
松山市 保健福祉部 介護保険課 ☎948-6949 FAX934-0815

編集後記

啓発調査部長 重見 安徳

雨の多い、又、蒸し暑い梅雨ですが、いかがお過ごしでしょうか？
新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、感染者の人数把握が聞かれなくなり、マスク着用も個人判断に任せられる状態のまま推移しています。
状況に応じて対策を実施して行きましょう。
今回も原稿依頼に快くお引き受け頂きました皆様、心から感謝いたします。

受賞

おめでとう
ございます

●民生委員児童委員
永年勤続者表彰

毛利 夏子様

●民生委員児童委員
優良者表彰

門田 ちずる様
中原 雅子様

若者パワーで 地域と共に

聖カタリナ大学
学生ボランティアセンター

1998年、大学開学10年の年に創設された聖カタリナ大学 学生ボランティアセンター（通称ボラセン）は、今年で25年を迎えます。3年生を中心に約30名で活動しています。特技を持つメンバーもいます。イラストを描く、ギターやピアノといった楽器の演奏（レパトリリーは同年代のものが中心です）、コーヒーを淹れる、マラソンランナー、暮らしの雑学博士、パルンアーティストのたまごなど、楽しい仲間たちです。

ボラセンには、国際部会、赤十字部会、地域プロジェクト部会という3つの部会があります。国際部会には、「TFT」という活動を学生食堂の協力を得て行っています。「TFT」とは、「Table For Two」の略であり、先進国の人の肥満を防ぐためにヘルシーな食事を提供し、その1食の売り上げあたり20円をアフリカ・アジアの発展途上国に寄付し、子どもたちの学校給食に充てる活動です。20円は、給食1



五明地区まちづくり協議会 収穫祭



運動会



ボラセンの
Instagram

食分です。学生食堂スタッフとヘルシーメニューを検討したり、寄付額を増やすために学内周知方法を考えたりしながら、昨年度は4,000円を寄付することができました。赤十字部会では、松山市駅キャンパスの学生赤十字奉仕団同好会の方たちと共に、大街道献血センターにて献血呼びかけ活動を行っています。地域プロジェクト部会では、昨年度から五明地区まちづくり協議会が主催する収穫祭に参加してきました。

その他、本学に寄せられる様々なボランティア依頼、例えば風早マラソンや風早にぎわいレトロまつり等に応えて参加をしたり、学内でペットボトルのキャップを回収し、洗浄した後に松山市社会福祉協議会に納める活動をしています。

ボラセンの中心メンバーである3年生は、入学時から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティアをはじめ様々な活動が制限された学生生活をおくってきました。先輩たちが築いてきた北条の皆様とのつながりも途絶えていましたが、再び、5月21日（日）に開催された北条公民館運動会をきっかけに、大町地区に混ざって、スプリンレース、二人三脚、なわとび等の競技に6名が参加させていただきました。皆様との距離が縮まったように感じています。快く迎えていただき、ありがとうございました。

私たちは、制限が解かれた今、「若者パワーで地域と共に」思いっきり活動したいと思っています。今後様々な行事に参加していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

北条地区 地域福祉活動計画

第3期(令和5年度～令和9年度)計画

松山市社会福祉協議会のご指導のもと、策定委員8名で策定致しました。

基本計画は①地区社協と住民との連携・協働②福祉学習とボランティア③在宅福祉・生きがい介護予防サービス④関係団体との協働・連携⑤その他の5項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開する。

地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、より一層連携・共働を図るとしております。

北条地区 地域福祉活動計画

【第3期計画】令和5年度～令和9年度



北条地区社会福祉協議会

安永建夫様（元北条在住、現群馬県在住）よりまごころ銀行に、地元の方々に役立てて下さいと寄付金をいただきましたので有効かつ有意義に使う為に基金を創設しました。皆様ご利用ください。

北条地区社会福祉協議会 きずな基金規定

【目的】

この規定は松山市北条地区社会福祉協議会が行う地域の推進、運営を図るために寄付金の積立てを行い、その管理、運営に関する事項を定めることを目的とする。

【名称】

北条地区社会福祉協議会きずな基金

【運営基金】

本会事業の推進、活動の実施に充て、特に下記の福祉支援事業を行う。

特に北条地域を対象とする。

- ① 障害者支援事業
- ② 災害支援事業（紛争は対象としない）
- ③ ヤングケアラー支援事業（対象者18歳迄）
- ④ その他理事会で承認されたもの

【基金】

個人、企業、各種団体の寄付金等の収入金をもって充てる。

【附則】

- 1 この規定は、公布の日から施行し、令和5年4月28日から適用する。